

うしろろろ」「おしろい」
 よろろ」「私はこのままで
 いいのか」「各人に
 よって異なるだろう。しか
 しながら、おもしろいといえ
 は「いかに生きるべきか」

明さや夕陽の色に心動か
 され、ヨーロッパに憧れ、
 夢想し、独特の美学をもつ
 『贅沢貧乏』から教えら
 まうところが多々ある。例

また、ユーモアを持つこ
 とが大切であることも教え
 られたと思う。『贅沢貧乏』
 の中には、ふりて笑ってし
 まうところが多々ある。例

ものは、人を恨んだり、意
 地の悪いことをしたりはし
 ないものである。世を幸け
 て恋愛時代で、若い女はす
 べて愛されたい欲望を持っ



東京朝日
 「ぼー

「日本人」という区別が
 緯38度線の国境といった
 「境界」を見つめなおし、
 アートでその境界を越えて
 いく、なくてはならない主
 題と

複眼 時評

大学と街のあいだ

文学研究科教授

小山哲

ヤギエウオ大学は、ポー
 ランドの古都クラクフにあ
 る、ポーランドで最も古い
 大学である。創設は136
 4年で、東ヨーロッパでは
 プラハのカレル大学に次い
 で長い歴史をもっている。
 16世紀前半に、当時の定説
 をとがえて地動説を提
 唱したコペルニクスも、若
 き日にこの大学で学んだ一
 人である。学生時代に、月
 の軌道が楕円であることを
 はじめて指摘したウォイ
 チェフ・フルゼフスキ教授
 の講義に接したことが、彼
 が天文学に目覚めるきっか
 けとなったとも言われる。

リチーモジエフスキは、の
 ちに革新的な国家論を著
 して、ポーランド・ルネサ
 ンスを代表する人文主義
 者となる。後年、リチー
 モジエフスキは、学生時代
 をふり返って、「泉よりも
 むしろ濁った小川から神
 学を汲みとった」と回想し
 ている。これは、大学の講

た。しかし、そうした熱い
 議論は、しばしば大学の敷
 地の外で行われたのであ
 る。歴史家のなかには、こ
 の証言を引いて、これはヤ
 ギエウオ大学が学問的に衰
 退しはじめた徴候のあらわ
 れである、と指摘する人も
 いる。

しかし、こうした見方は、
 大学とその外側の都市空間
 とを形式的に区別し過ぎて
 いるのではないかと私は考
 えている。カトリック教会
 の問題を鋭く指摘したル
 ターの著作は、ヤギエウオ
 大学の教師にとっても学生
 にとっても無視することの
 できないものだったが、ス
 コシアが支配する大学の授
 業と切りあはるには刺激が
 強すぎた。時代の大きな岐
 路にさしかかって、教師も
 もしれない。

京都大学は、昨年12月に、
 「立看板規程」を制定した。
 この規程によれば、立看板
 の設置は「京都大学学内団
 体規程」の総長が承認し
 た団体が行うもの」に限ら
 れ、看板を立てることがで
 きる空間も、大学が指定し
 た構内の設置場所に限定さ
 れる。立看板の前面に「設
 置する団体名、責任者の氏
 名、連絡先あるいは学生番
 号、設置期間」を明記しな
 ければならず、立看板の大
 きさも「縦200センチ
 メートル、横200センチ
 メートル以内」に規制され
 る。

私たちが知っている、そ
 して、数十年にわたって百
 万遍や東一条の景観の一部
 を形づくってきた立看板
 は、大学の敷地の境界に、
 外側に向けて立てられた、
 街の空間へと開かれたメ
 ディアである。それは、サ
 イズやデザインについての
 規制なしに、発信したい者
 が自由に自己表現できる、
 便利で手ごろな媒体であっ
 た。他方で、台風が来ると
 きには一時的に撤去するな
 ど共有されたルールがあ
 り、それは比較的良好に守
 られてきたと思う。しかし、
 新たな規程が施行される
 と、京都大学の立看板は、
 都市空間に背を向けて、大
 学の構内の決められた一面
 に、同じような背丈で、名
 札を付けて行儀よく並ん
 だ、内向きのメディアとな
 る。それは、大学の壁の外
 側に、街のほうを向いて、
 おもしろいおもしろい装いで、い
 ろんなポーズをして、道行
 く人びとに自由に問いを投
 げかけ、メッセージを発信
 していたこれまでの立看板
 とは、まったく異なる媒体
 である。

(こやま・さとし 文
 学研究科教授。専門は
 ポーランド史)

